

ヘブル
人への
手紙
10

贖いの恵みを 味わい知ろう

ヘブル人への手紙9章1～14節

幕屋と祭司・真実の大祭司

Shikaoichurch.com

主イエスの贖いの恵みを

日々、味わっていますか？

日々、深められていますか？

贖いの恵みを味わい知ろう

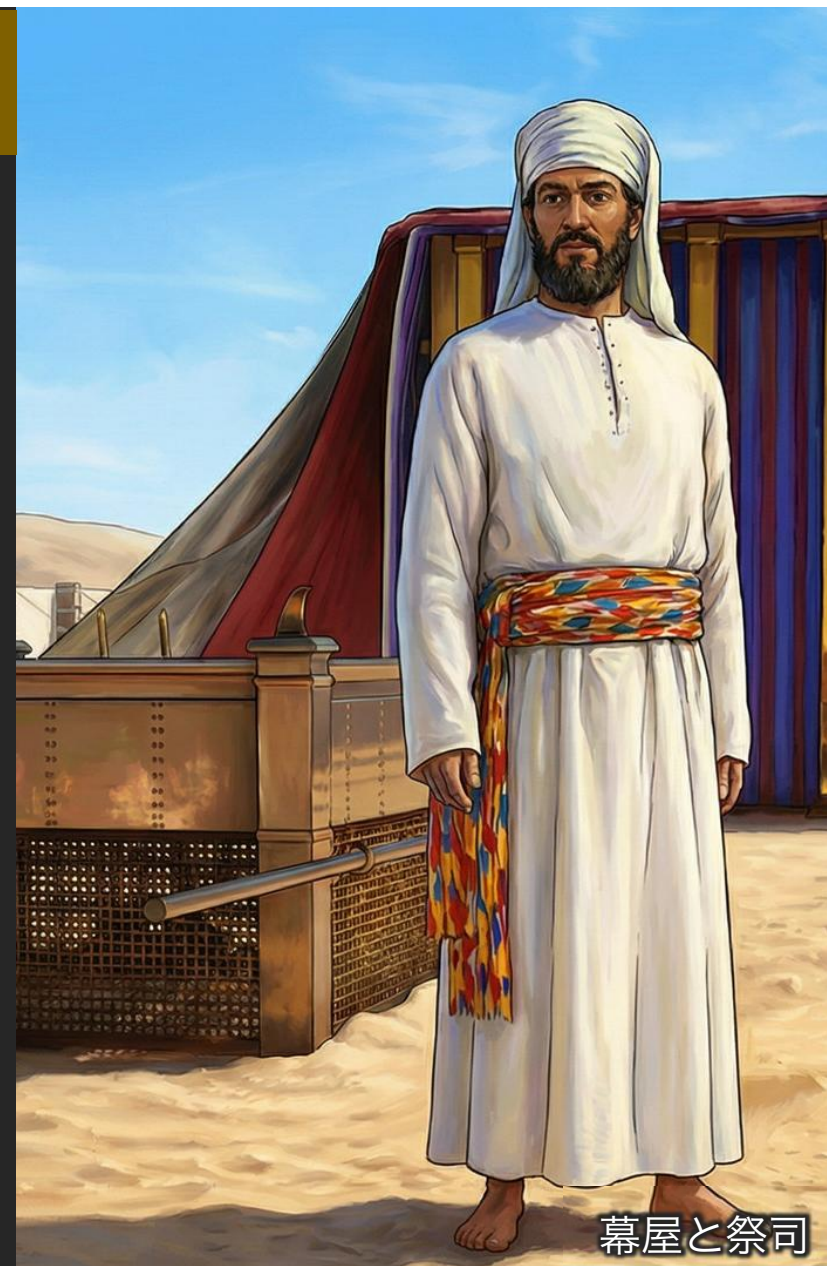
前提① 幕屋とは？

9:1～5

前提② 祭司とは？

9:6～13

本題：真実の大祭司とは？ 9:8～14



幕屋と祭司

ヘブル人への手紙とは？

- **著者** …記載なし。諸説あり **パウロ?!**
…メシアニック・ジュー(第二世代?!)
- **宛先** …メシアニック・ジュー
ディアスポラ(離散のユダヤ人)
ペテロの手紙と同じ教会(小アジア?)
- **場所・時期** …エルサレム陥落(BC70)前
ローマ? **エペソ?!**
- **内容** …ユダヤ教に回帰しようとする人々へ
信仰の基本的内容の確認、促し。

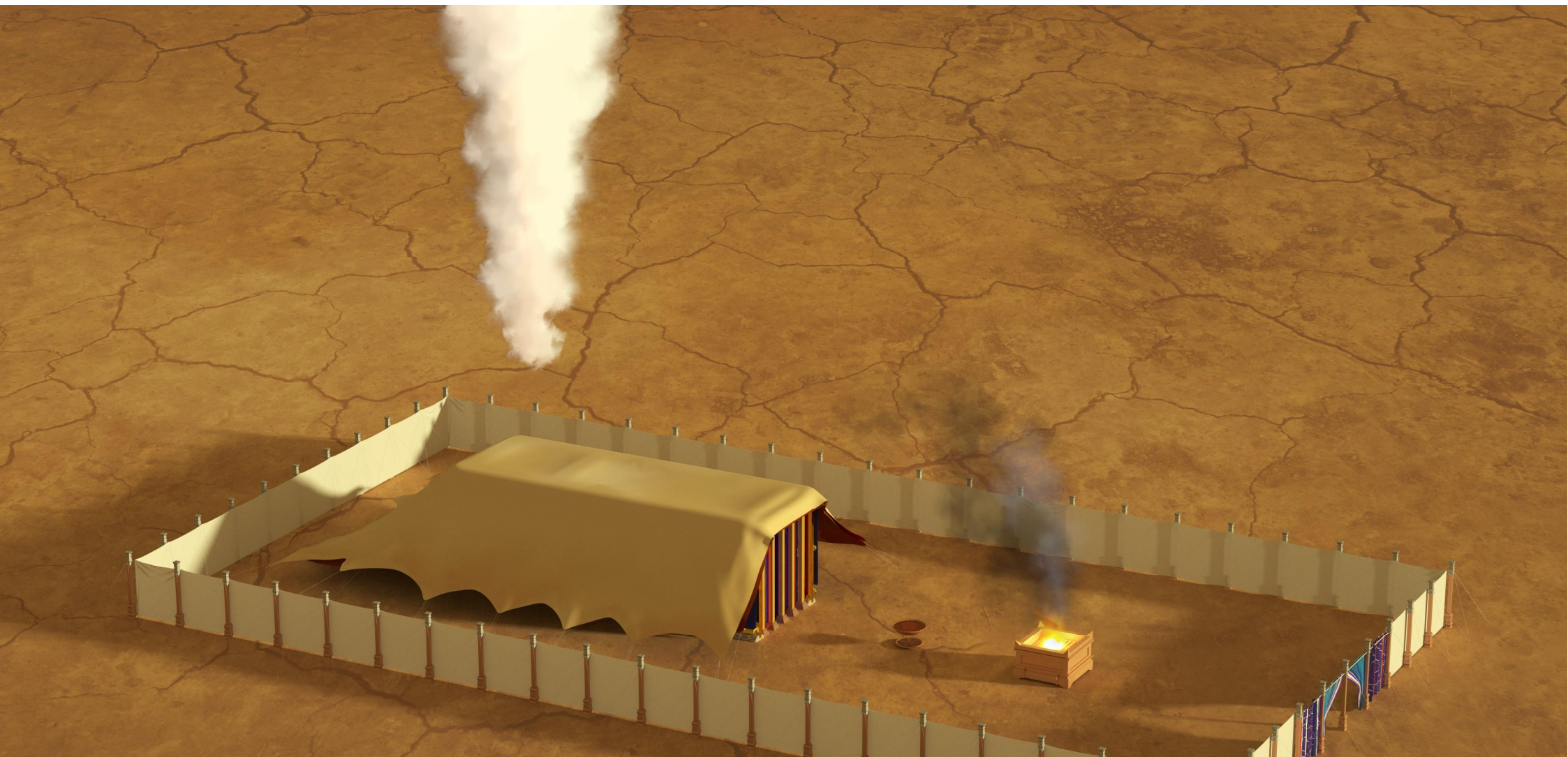


①キリストを信じる …主イエス・キリストによる
贖罪の死と復活の福音を信じる

②新しい契約を結ぶ …キリストの律法の下に身を置く

■福音を信じた時、**新しい契約**に結ばれた信仰者は、
キリストの愛の律法に聞き従って行くよう促される。

キリストを信頼し、聞き従っていくのが、信者の道



前提① 幕屋とは？

ヘブル9章1～5節

幕屋の再現図

①幕屋とは？ 聖所 ヘブル9:1～2

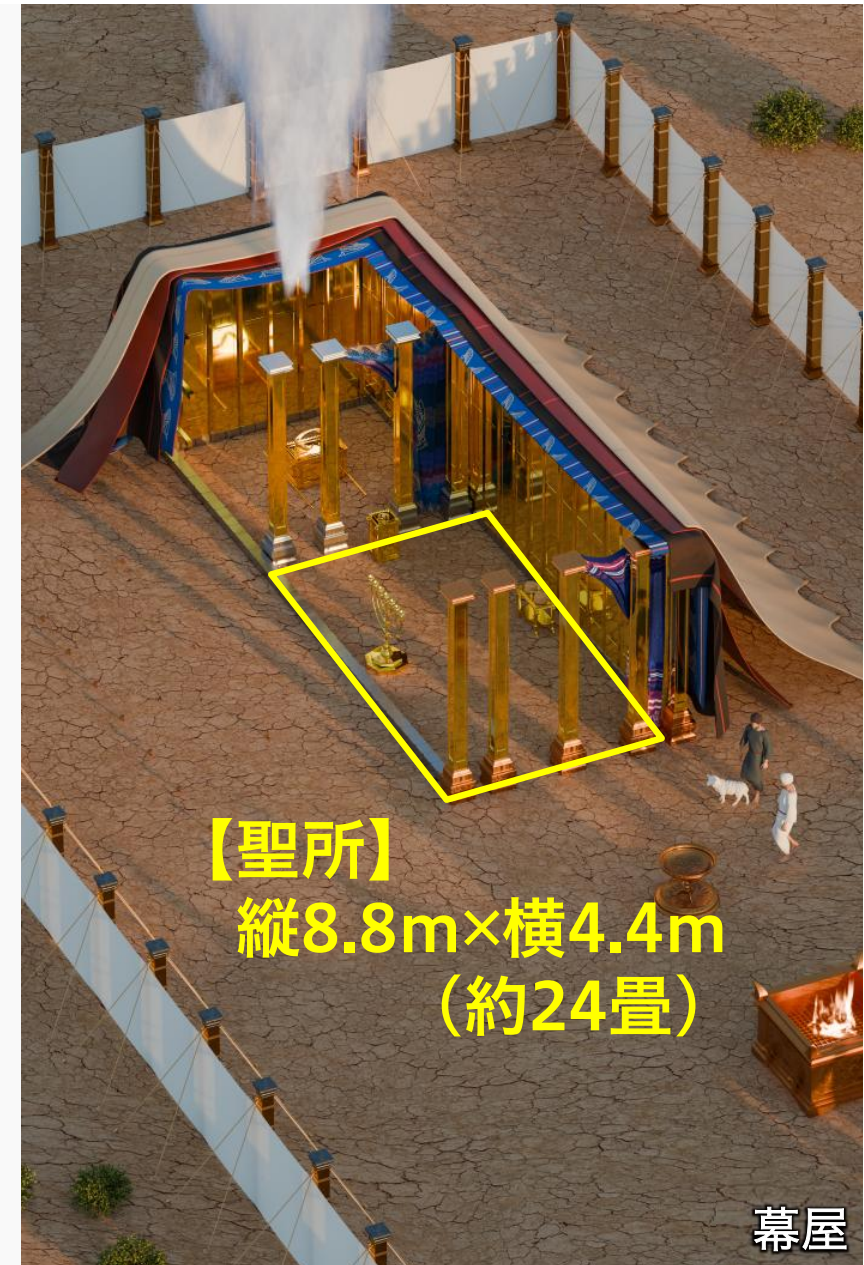
さて、初めの契約*にも、礼拝の規定と地上の聖所がありました。

すなわち、第一の幕屋が設けられ、そこには燭台と机と臨在のパンがありました。それが**聖所**と呼ばれる場所です。

*シナイ契約・律法

■ 聖所に置かれていたもの

- ①燭台…照明。
- ②香壇…香を焚く(祈りを示す)
- ③机(供卓)…パンをささげる



①幕屋とは？ 至聖所 9:3～4

また、第二の垂れ幕のうしろには、**至聖所***と呼ばれる幕屋があり、

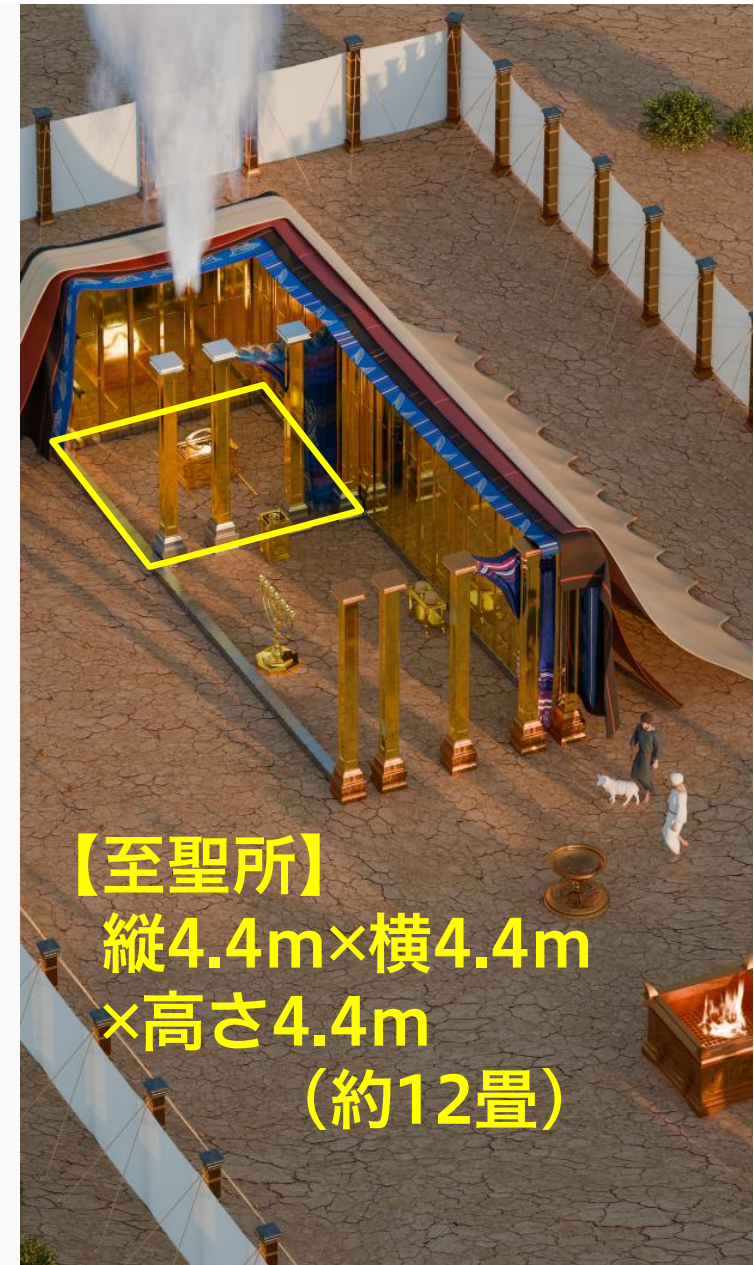
そこには金の**香壇***と、全面を金でおおわれた**契約の箱***があり、箱の中には、マナの入った金の壺、芽を出したアロンの杖(民17:10)、契約の板がありました。

＊**至聖所**は、4.4mの立方体

➡天のエルサレムの影(黙21章)

＊贖罪日に至聖所で香を焚いた(レビ16章)

＊**契約の箱**が、最も重要な祭具



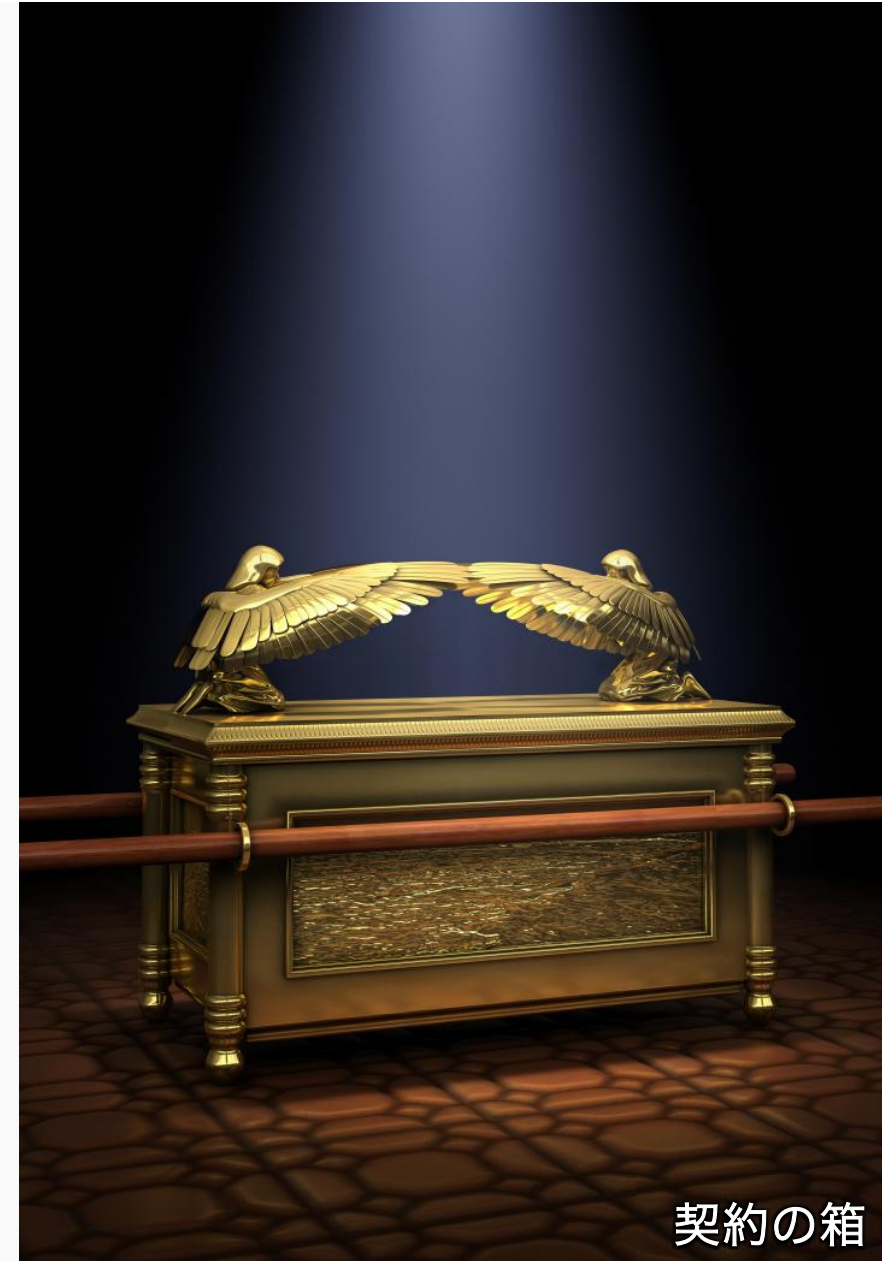
①幕屋とは？

契約の箱 ヘブル9:5

また、箱の上で、栄光のケルビム*が
「**宥めの蓋**」をおおっていました。しか
し、これらについて、今は一つ一つ述べ
ることはできません。

*主に仕える高位の御使い

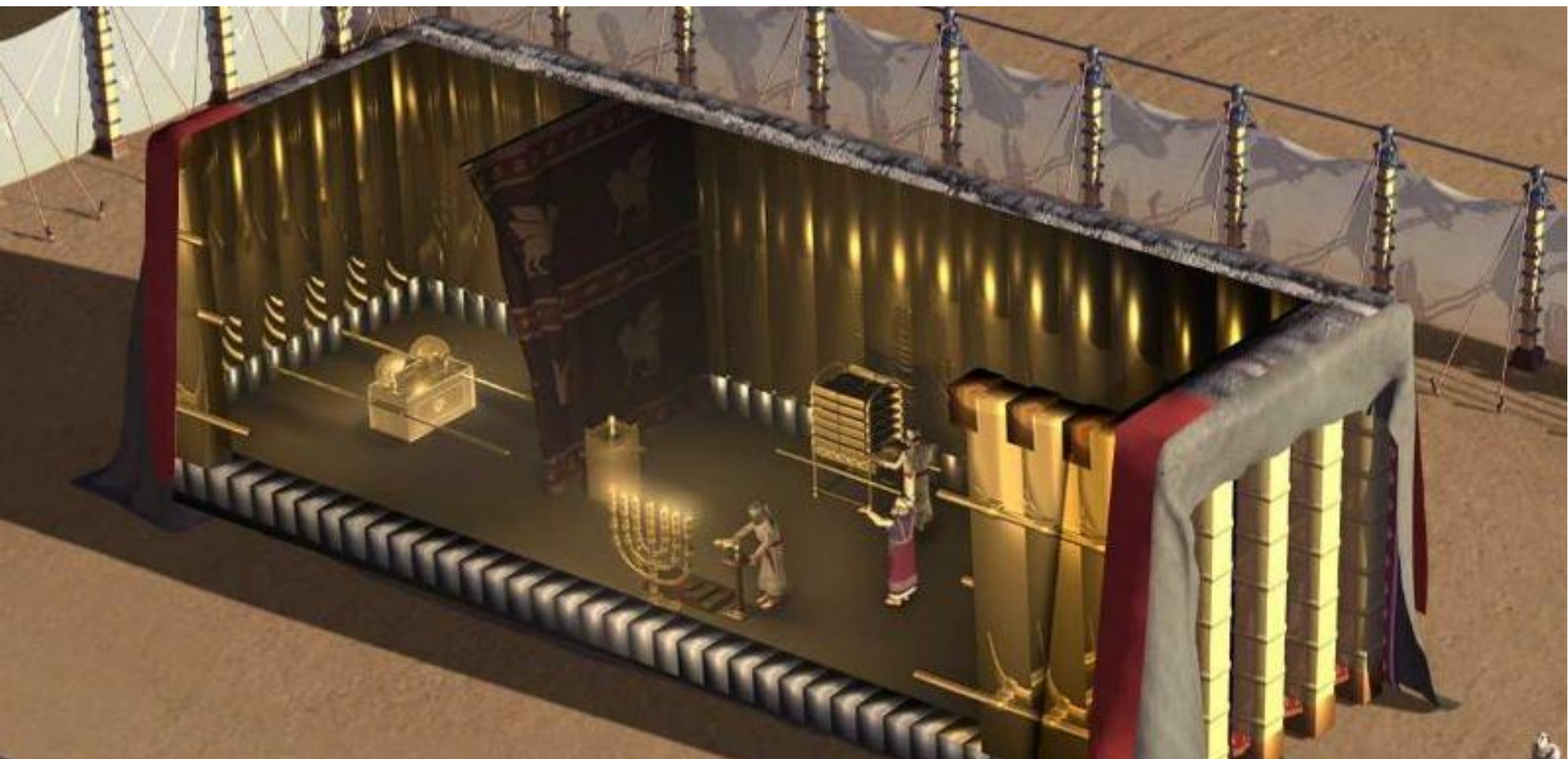
*契約の箱・宥めの蓋に**主の栄光**が臨在。



契約の箱

前提① 幕屋とは？

- ①律法(シナイ契約)で、主が建設を命令。
- ②聖所で、主への礼拝がささげられた。
- ③至聖所の、契約の箱に主の栄光が臨在。



前提② 祭司とは？

ヘブル8章6～7節

幕屋の再現図

②祭司とは？ 祭司 ヘブル9:6

さて、これらの物が以上のように整えられたうえで、**祭司**たちはいつも**第一の幕屋***に入って、礼拝を行います。

＊第一の幕屋＝聖所

(至聖所に踏み入れば死んでしまう)

■祭司たちが通常の奉仕をしたのは聖所。

- ①燭台に火を灯し、
- ②香壇で香を焚き、
- ③供卓にパンを供えた。



②祭司とは？

大祭司 ヘブル9:7

しかし、第二の幕屋には年に一度、**大祭司***だけが入ります*。そのとき、自分のため、また民が知らずに犯した罪のために献げる**血***を携えずに、そこに入るようなことはありません。

*贖罪日…出30:10、レビ16章

***大祭司**…アロンの家系から選出

*主にささげられた特別な雄牛の血

大祭司は民を代表して贖罪の血を注いだ



大祭司と祭司

前提② 祭司とは？

①祭司たちは、聖所で礼拝した

②大祭司は、年に一度、至聖所で礼拝した



本題：真実の大祭司とは？

ヘブル8章8～14節

真実の大祭司

時代の区切り 9:8

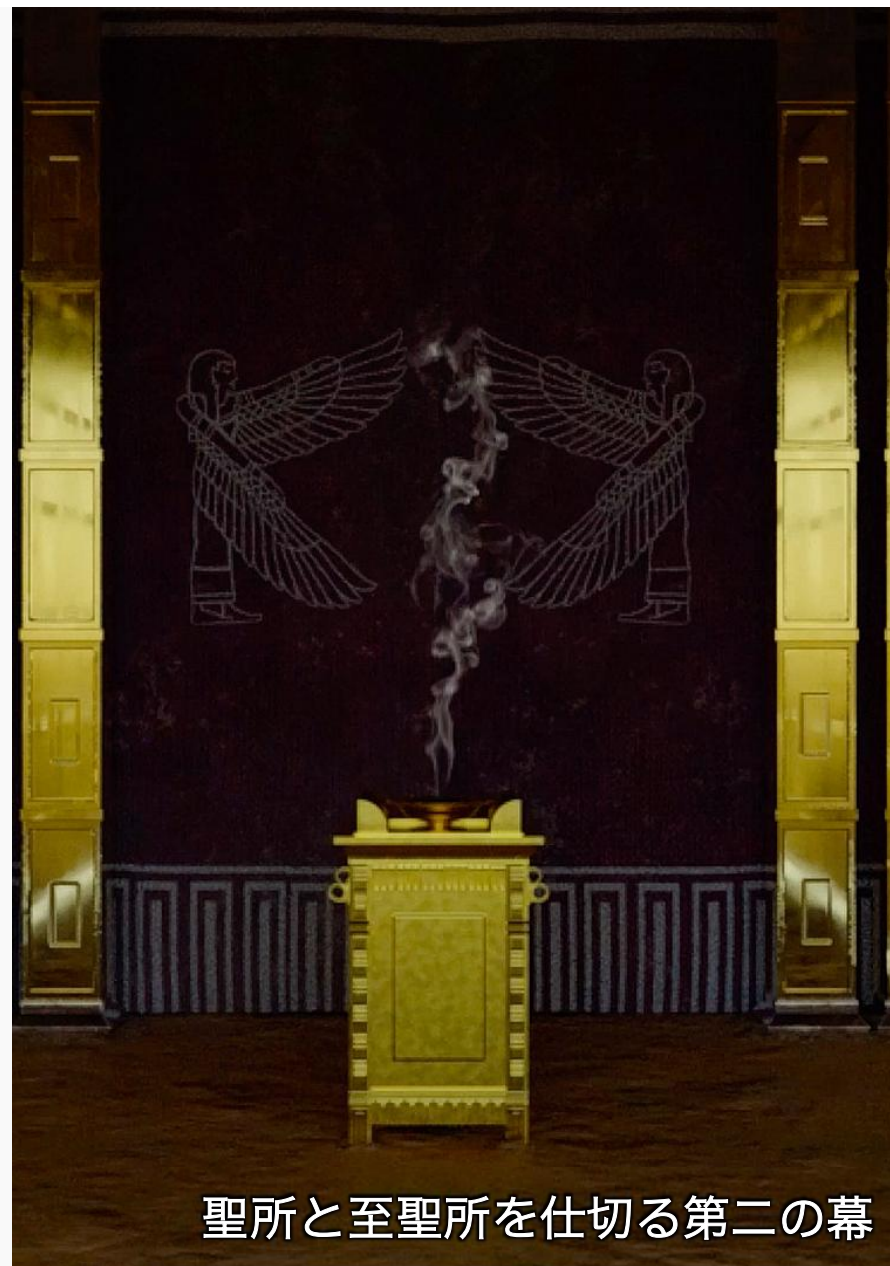
聖霊*は、次のことを示しておられます。
すなわち、第一の幕屋*が存続しているか
ぎり、聖所への道*がまだ明らかにされて
いないということです。

*聖霊が、今の時代を理解する鍵

*第一の幕屋…律法時代

*メシアによる永遠の救いに至る道

➡この道が開かれたのが、教会時代
裂かれた至聖所の幕(マタイ27:51)



聖所と至聖所を仕切る第二の幕

真実の大祭司

律法 ヘブル9:9

この幕屋は今の時を示す比喩*です。それにしたがって、ささげ物といけにえが献げられますが、それらは礼拝する人の良心を完全にすることができません。

＊律法時代から教会時代への変遷を示す。

■ 律法のささげ物、いけにえは、
一時的な罪のきよめをもたらすだけ。



祭壇

真実の大祭司

律法 ヘブル9:10

それら*は、ただ食物と飲み物と種々の洗いに関するもので、**新しい秩序***が立てられる時まで課せられた、からだに関する規定*にすぎません。

＊シナイ契約・律法

＊キリストの愛の律法

…イエスの教え＋使徒たちの教え



十戒の石版

真実の大祭司

真実の大祭司 9:11

しかしキリストは、すでに実現したすばらしい事柄の大祭司*として来られ、人の手で造った物でない、すなわち、この被造世界の物でない、もっと偉大な、もっと完全な幕屋を通り*、

*一度きりの完全な贖罪をもたらす、
真実の大祭司

*律法時代から教会時代へ
…神の永遠の完全な計画を示す幕屋

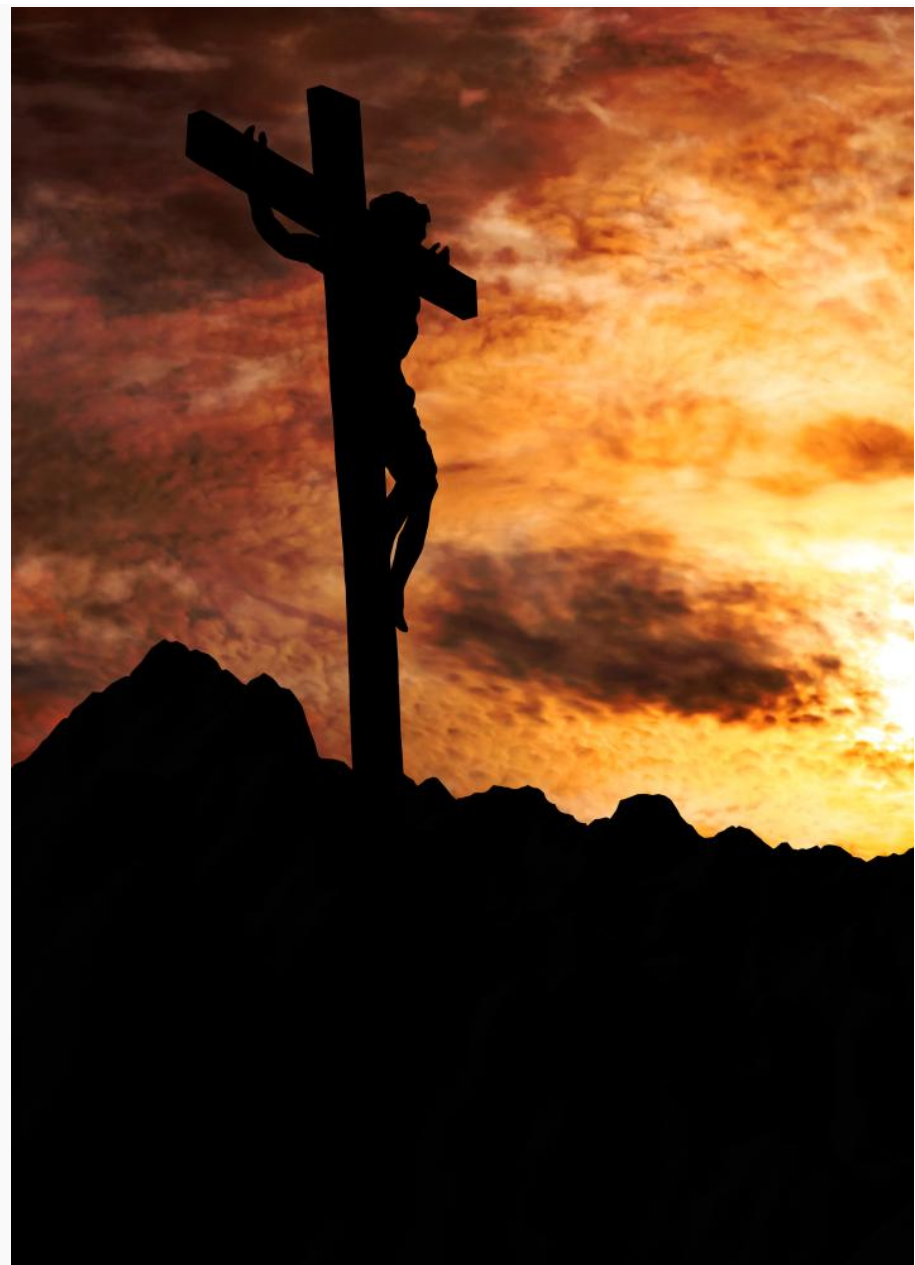


真実の大祭司

永遠の贖い 9:12

また、雄やぎと子牛の血によってではなく、**ご自分の血によって**、ただ一度だけ聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられました。

■ 罪なき子羊としての**キリストの血**は、一度きりで完全な永遠の贖いを成就。



真実の大祭司

律法時代 9:13

雄やぎと雄牛の血や、若い雌牛の灰を汚れた人々に振りかけると、それが聖なるものとする働きをして、からだをきよいものにするのなら、

- 律法の定めるささげ物は、
一時的なきよめと赦しをもたらした。
➡ このことさえ大きな恵みだったが



祭壇

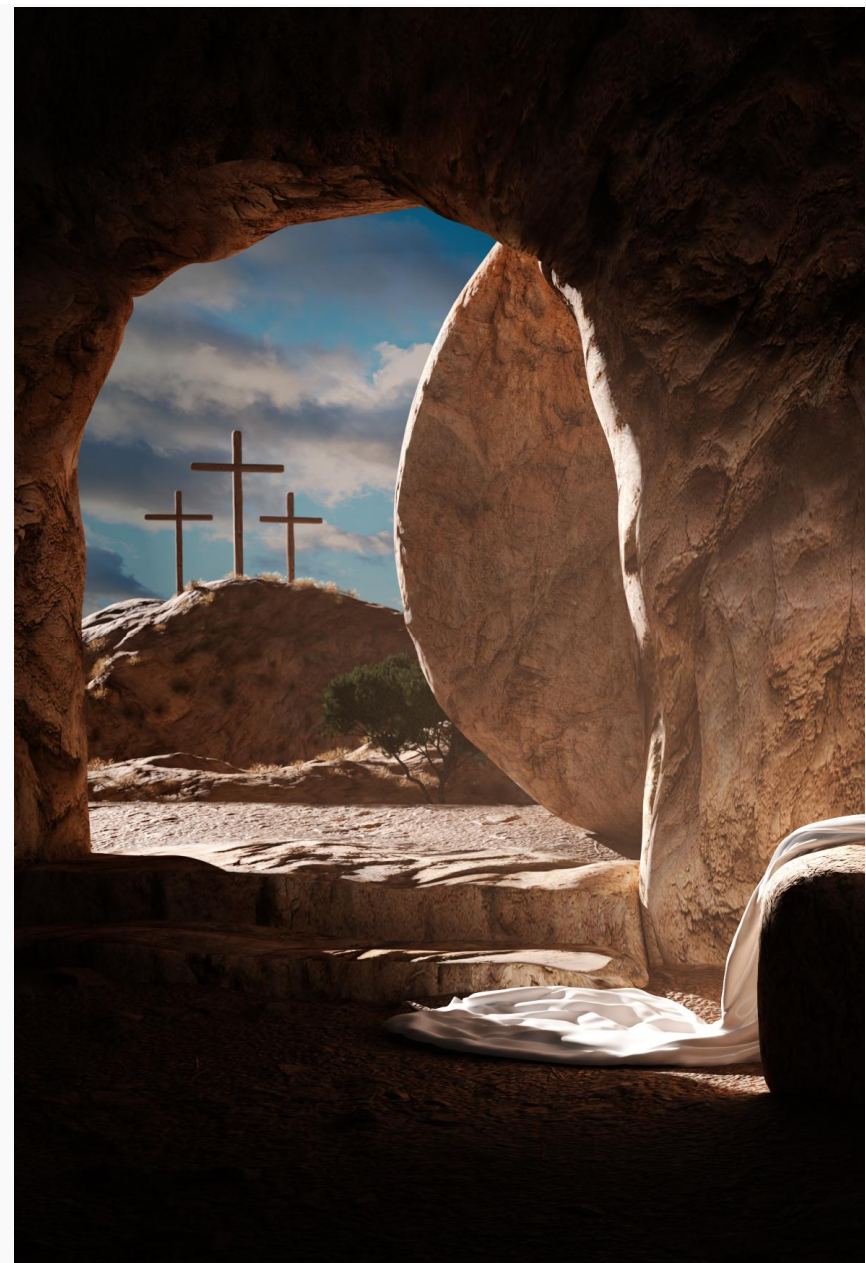
真実の大祭司 キリストの贖い 9:14

まして、キリストが傷のないご自分を、
とこしえの御霊によって神にお献げに
なったその血は、どれだけ私たちの良心
をきよめて死んだ行い*から離れさせ、生
ける神に仕える者*にすることでしょうか。

＊律法主義的偽善。形ばかりの儀式。

…転じて、適用のない信仰。

＊福音を信じる信仰によって救われ、
聖霊によって実を結ぶ、真実の信仰者。



本題：真実の大祭司とは？

- ①幕屋が象徴する律法は、一時的な契約。
→メシアを示し、メシアに導くもの
- ②メシアが真実の大祭司。ご自身の血により、
一度きりの完全な贖いを成し遂げられた!!



まとめと適用

贖いの恵みを味わい知ろう

まとめ

幕屋・祭司 と 真実の大祭司

- 律法の幕屋・祭司は、メシアを示す影
 - ➡ 重要なのは本体・真実の大祭司メシアご自身
- メシアは来られ、一度きりの完全な贖いを成し遂げた。
- 今や、福音を信じた誰もが、メシアを通して、
 - ① 神に直接礼拝することができる。
 - ② 真実の至聖所・天のエルサレムへ招かれている。

イエス・キリストを信じ、従い歩むのが今の時代の信仰者

適用

今の時代に、律法を学ぶ意味

- 旧約聖書のほとんど(創世記以外)は、律法の時代。
主イエスの公生涯は、律法の時代のクライマックス。
- 律法は、メシアを示す影。
メシアを学ぶ、生きた歴史の教材でもある。
- 律法を学ぶことで、信仰の土台が強固にされていく。
メシアの救いの恵みを、より深く味わわされていく。

弟子たちの感動を、私たち自身の感動にしたい!!

適用

聖書全体を学ぶことで得る恵み

■ 聖書全体をメシアについての一冊の本とするなら、
➡ 全体の3/4。起承転結の起承転は、旧約聖書に。

【旧約聖書】

起…天地創造～アブラハム～ヤコブ

承…イスラエルの誕生～王国の建設

転…王国の滅亡

【新約聖書】

結…メシアの誕生。贖いの完遂。昇天、再臨。

全体を味わってこそ、メシアの恵みを味わい知れる!!

適用

信仰の全体性を取り戻そう!!

■ 教会が命を失ったのはなぜ？

① イスラエルの喪失(置換神学)

比喩的解釈の横行。終末論の混乱。

旧約聖書が読めない。分からない。全体性の喪失

② 自由主義神学、主観的、体験重視の聖書理解

ぶつ切りにされた御言葉。信仰も個々にバラバラ。

世界的な教会の衰退。福音派すら混沌の闇に…。

放蕩息子のように、恵みを食いつぶそうとしていないか？

適用

生きた信仰に立ち、新しい命を生きよう!!

「まして、キリストが傷のないご自分を、とこしえの御霊によって神にお献げになったその血は、どれだけ私たちの良心をきよめて死んだ行いから離れさせ、生ける神に仕える者にするのでしょうか。ヘブル9:14」

- 律法主義的偽善・適用のない信仰に陥っていないか？
- 福音宣教に主イエスの証人として遣わされているか？
- 御霊によって変えられ、成長させられていっているか？

★ 聖書の全体を知り、贖いの恵みを味わい知ろう ★

■ 律法は、人の罪を暴き出す。

決定打が、メシアによる律法解釈。山上の説教。

■ 聖書が否応なく突きつける、今も続く人の罪の現実。

■ 打ち砕かれて、仰ぎ見るべきは、私の罪のため、
十字架で死なれ、葬られ、復活された

主イエス・キリスト、この方だけだ。

福音を信じる主イエスの弟子として遣わされよう!!

「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、

①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

②墓に葬られ、

③三日目に復活されたこと、を信じます。

主イエスこそ、律法が指し示す、メシア、キリストです。

私たちは、ただ、主イエスを仰ぎ見、主イエスの道を歩みます。

御霊によって満たし、主イエスの証人として遣わしてください。

感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」



バイブルスタディ

★次回予告：2026年10月27日(火) 午前10時より

ヘブル人への手紙 9章15～28節

★11時10分くらいから、Zoomで分かち合いの時間を持ちます。